



第1回日本医療安全学会学術総会

会期： 2014年9月21日(日)～22日(月)
会場： 東京大学本郷キャンパス
ホームページ： <http://jpscscs.org/1stJPSCS/>

2014年7月

ご挨拶

第1回日本医療安全学会学術総会 会長

海野 雅浩（東京医科歯科大学名誉教授、元歯学部副病院長）

出江 紳一（東北大学大学院医学研究科肢体不自由学分野教授、同大学院医工学研究科長）

橋田 亨（神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部長・院長補佐）

医療安全は医科医療安全、歯科医療安全、臨床医学安全、医薬品安全、医療機器安全、看護安全など多岐にわたり、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床工学士、放射線技師、臨床心理士などすべての医療職がそれぞれの専門分野での患者安全に携わっております。さらに、関連分野としてリスクマネジメント、品質管理、ヒューマンファクターと安全工学、臨床コミュニケーション、臨床コーチング、法行政学、医療経済学、医療経営学、情報科学、行動科学、認知科学、疫学・統計など多種多様な専門分野が医療安全を支えております。

医療の安全は専門職個人の努力だけで達成することはできません。関連する専門職の連携・協同作業が円滑に展開されることが不可欠です。お互いに情報を共有し協同・連携することが安全・安心の医療を作り上げます。

こうした多職種学際連携の観点から、医療安全文化の向上を図り、患者中心の医療を充実させることを目的として2013年4月に日本医療安全学会が発足いたしました。同年8月には東京大学において学会設立記念総会が開催され、さまざまな分野から多くの参加者が集い、熱心に討論を行いました。

この度、2014年9月21日（日）、22日（月）には第1回学術総会を東京大学において開催する運びとなりました。医療は年々高度化、細密化、複雑化、専門化しております。それに伴ってリスク要因も増えてまいります。日々増大する医療リスクに適切に対応し、医療の安全をいかに確保するかは医療人に不可欠な医療行為です。本学会はあらゆる分野の医療人に医療安全向上のための情報交換、学術討論、研究発表の機会を提供する場であり、本学会は専門領域での医療安全の強化、発展はいうまでもなく、学際的、多職種横断的な情報交換や医療安全のシステム作りを目指しております。多くの方々の参加を期待しております。